

# 最上級構文について

今回は前回まで2回に渡って取り上げた比較表現に関係が深い最上級の構文を取り上げます。まず、最上級には「相対最上級」(superlativo relativo)と「絶対最上級」(superlativo absoluto)があります。一般の教科書等では前者に限って最上級としていることもあります。そこでまずこちらから確認してみましょう。

Paula es **la más inteligente de** la clase.

パウラはクラスで**最も賢い**。

「定冠詞＋más＋形容詞＋de～」という構文です。しかし、そもそも《más inteligente》は比較級の作り方でした。つまり、よく考えてみるとこれは比較級の表現を借りているのです。定冠詞(または、所有詞)を使うことによって意味を限定しています。このため「一番～」「最も～」という意味が生じるわけです。同時に、比較対象の範囲は《de～》で表されます。この《de》も「～の中で」と限定する働きを持っています。つまり、最上級は比較構文の一種とも言えます。このように、スペイン語は英語(long-longer-longest)等と違って、比較級と最上級の本質的な区別はありません。次の例文を比較してみましょう。

Miguel es el alumno que ha estudiado **más que** el resto de la clase.→比較級

ミゲルはクラスの他の人**よりもよく**勉強した生徒だ。

Miguel es el alumno que ha estudiado **más de** toda la clase.→最上級

ミゲルはクラス中で**最もよく**勉強した生徒だ。

比較範囲を限定する部分は先ほど見たように《de＋名詞》が多いのですが、他の前置詞の例もあります。《en～》や《entre～》です。

Él es el director **más conocido en la historia del cine.**

彼は**映画史上もっとも**有名な監督だ。

次に《de～》を使わないで形容詞で限定することがあります。

La reacción de este jugador ha sido la mejor defensa **posible.**

この選手の反応は**最もよい**防御であった。

3つ目として関係詞の文を使って限定する方法があります。

Él es el mejor portero **que yo recuerde.**

彼は私が覚えている限り**最もよい**キーパーだ。

さて、スペイン語では比較級と最上級に本質的な差はないわけですので、副詞の最上級を作るのはちょっと工夫が必要です。

Javier corre **más rápido.**

ハビエルは「より」(または「一番」)速く走る。

これだけでは、比較級なのか最上級なのかわかりません。rápidoは副詞なので定冠詞を付けるわけにいかないからです。比較対象を表す語句(例えばque tú)を付けると間違いなく比較です。

Javier corre **más rápido que** tú. ハビエルは君**より速く**走る。

一方、最上級にするにも比較範囲を示す語句(例えばde la clase)は付けることができません。そこで工夫して名詞的な文章にする必要があります。

Javier es el que corre **más rápido de** la clase.

ハビエルはクラスで**最も速く**走る人だ。

次にもう1種類の最上級である「絶対最上級」(superlativo absoluto)を見てみましょう。一瞬、何か難しいものを想像した読者もいるかも知れませんが、しかし実は初級で習う「muy＋形容詞」こそが絶対最上級なのです。

Paula es **muy inteligente.** パウラは**とても賢い**。

ここでは“de la clase”などのように範囲を限定しません。比較対象な

しで強調するので、「相対最上級」に対して「絶対最上級」と呼ぶのです。

おそらく読者のみなさんが習った絶対最上級はむしろ**-ísimo**を付加するものではないでしょうか。非常によく使われる語形です(**alto**→**altísimo**)。バリエーションとして**-érrimo**があります(**pobre**→**paupérrimo**)。また、-bleで終わる語は**-bilísimo**となります(**amable**→**amabilísimo**)。これら例外はラテン語から由来していますが、そのまま覚えるしかないようです。

一方、単語の頭に付加することで絶対最上級を表す語もあります。**super-**や**requete-**などですが、使用が限定されていますので注意しましょう。

En ese mercado todo es **superbarato.**

その市場では全てが**超安かった**。

ところで、ラテン語の最上級が現在でも使われている語があります(参考のため比較級も挙げます)。

bueno → mejor → óptimo 「最善の」

malo → peor → pésimo 「最悪の」

grande → mayor → máximo 「最大の」

pequeño → menor → mínimo 「最小の」

alto → superior → supremo 「最高の」

bajo → inferior → ínfimo 「最低の」

その他、次のような語も最上級の一種と考えることができます。íntimo(最も内の)、extremo(最も外の)、primero(最初の)、último(最後の)、único(唯一の)、etc. amigo íntimo「親友」、Extremo Oriente「極東」など重要な表現で使われてます。いずれにせよラテン語由来の最上級は本来の最上級の意味が薄れてしまっていることがありますので、用法に注意が必要です。

最後に文法的には最上級でなく比較級なのですが、最上級の意味で使われるものを確認して終わりにしましょう。代表的なのが否定語を利用したものです。

Este año han venido más tifones que **nunca.**

今年は**これまで以上に**たくさん台風が来た。

もちろん他の否定語(nadaやnadie)を使っても原理は同じです。最後に《cualquier otro》を使った例を見てください。

Hoy en día Internet tiene más potencial que **cualquier otro** medio.

今日インターネットは**他のどんな**メディアよりも可能性を持っている。

いかがでしたか。みなさんのスペイン語に対する理解と興味が深まれば筆者にとって最高の喜びです。¡Hasta la vista!

文 仲井邦佳



仲井 邦佳

なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。

京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。

著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語 一文法と演習一』(共著、同学社)などがある。